

「ばり嗎」「とりの助」のウイズリンク

ラーメン100店体制目指す



西風新都に新社屋完成

ラーメンチェーン「新・和歌山らーめんばり嗎」など運営のウイズリンク(広島市安佐南区)は中国、関西地区などで出店を拡大し、二〇一三年に現在の約二倍の百店体制を目指す。事業拡大に合わせ、新社屋をひろしま西風新都(同)に建設した。(樋口浩二)

フランチャイズと直営で中国、関西地区を中心に四国や関東地区へも出店する。〇九年四月期見込みで売上高約十八億円を一三年には三十億円に伸ばす計画。積極出店を受け、今春七人の新規採用を来春は約十人に増やします。同社は「新・和歌山らーめんばり嗎」「京都らーめんとりの助」ウイズリンクが運営するラーメン店(広島市西区)

の二業態を柱に店舗を展開。広島、山口、岡山県などに直営十五店、フランチャイズ三十二店の計四十七店を運営する。江口歳春社長は「店舗を拡大しながら、新業態の開発も目指す」と言う。同社は前身のエグチフードサービスが一九九二年に創業し、〇五年六月に現社名に改めた。独自の製法のスープを使い、店舗網を拡充してきた。新社屋はひろしま西風新都の事業用地「セントラルシティ商業・業務用地」に二月、総工費約二億円で建設した。新社屋では、店舗に配置する社員教育などを強化する。



3月14日(土)

発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677

中国新聞社

電話(082)236-2111(受付案内台)
郵便振替口座 01370-0-57

ホームページ
<http://www.chugoku-np.co.jp/>